

## 目録 List

鳥取県・島根県の動物相に関する文献  
目録 第4集 (2012年)鶴崎展巨<sup>1</sup>・淀江賢一郎<sup>2</sup><sup>1</sup>〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101  
鳥取大学地域学部生物学研究室

E-mail: ntsuru@rstu.jp

<sup>2</sup>〒690-0862 松江比津が丘2-1-7

E-mail: shimane@sc4.so-net.ne.jp

<sup>1</sup> Nobuo TSURUSAKI and <sup>2</sup> Ken-ichiro YODOE (<sup>1</sup> Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan; <sup>2</sup> Hizugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **Bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 4 (2012).**

キーワード — 島根県, 鳥取県, 動物相, 記録, 文献目録

**Abstract** — This bibliography lists literature concerning fauna of the San'in District (Tottori and Shimane Prefectures) published in 2012. Some articles published before 2012 may be also included when they have not been covered in the previous bibliographical series.

**Key words** — bibliography, fauna, faunal records, Tottori Prefecture, Shimane Prefecture, San'in District

鳥取県と島根県の動物相に関して2012年に出版された文献のリストである(前報までに掲載もれの2011年以前の文献も含む)。最後に付録として、両県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は鳥取県から2種、島根県からの1種)。

文献入手または文献情報収集にご助力をいただいた林成多・山内健生・田村昭夫・大浜祥治・尾原和夫の諸氏に御礼申し上げます。

## 凡 例

採録範囲は、おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが、本県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が狭いなどで、最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント、内部的報告書、大学のサークル・学校のクラブ

等の部内機関誌に掲載されたもの)も原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として、短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も、積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生・爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トンボ類/昆虫:直翅類/昆虫:半翅目/昆虫:甲虫/昆虫:双翅目/昆虫:鱗翅類/昆虫:膜翅目/昆虫:その他/クモガタ類・多足類/甲殻類/軟体動物/その他の無脊椎動物/化石・考古/その他)、著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは、個々の文献の末尾に角かっこ([ ])内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

NT = 鶴崎展巨, KY = 淀江賢一郎。

## 【総合】

林 成多・門脇久志(2012)鳥取県大山山麓で観察した魚類・両生類・爬虫類の記録. ホシザキグリーン財団研究報告 特別号, No. 7, pp. 101-104. [鳥取]

清末忠人(2012)「鳥取野鳥の会」創始者・鳥取県生物学会初代会長であった尾崎繁夫先生の思い出. 山陰自然史研究, No. 8, pp. 55-57. [鳥取]

鶴崎展巨・淀江賢一郎(2012)鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第3集(2009-2011年). 山陰自然史研究, No. 8, pp. 39-53. [鳥取・島根]

鳥取砂丘検定公式テキストブック編集委員会(編)(2012)鳥取砂丘まるごとハンドブック. 鳥取砂丘検定公式テキストブック【改訂】. 今井書店鳥取出版企画室(鳥取市) 176 pp. pp.78-92に鳥取砂丘の動物の紹介。執筆は鶴崎と一澤圭, 川上靖両氏の分担執筆。

鳥取県生物学会(編)(2012)レッドデータブックとっとり改訂版. 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物. 鳥取県生活環境部公園自然課, 337 pp. A4判, 3,050円(頒価:印刷実費に相当)。本書の入手については鶴崎がお世話しています。入手希望の方は鶴崎まで電子メールで(E-mail: [ntsuru@rstu.jp](mailto:ntsuru@rstu.jp))お申込みください。送料が350円別途かかります。 [鳥取]

和田年史・徳田悠希・山口暁美(2012)「総合的な学習の時間」におけるジオパークと博物館の活用事例. 鳥取県立博物館研究報告, No. 49, pp. 13-16. [鳥取]

淀江賢一郎(2012)【書評】小林一彦(2011)自然の魅力を伝えつづけて逝った—中国山地を中心とした30年間の自然案内の記録. すかしば, No. 59, p. 44. [鳥取]

## 【鳥類】

桐原佳介・奥谷浅枝・河合葉子・長谷川和子(2012)鳥取県大山におけるソウシチョウの繁殖記録. 山陰自然史研究, No. 8, pp. 28-29. [鳥取]

佐藤仁志・森 茂晃・八幡浩二(2012)隠岐諸島におけるカムリウミスズメ*Synthliboramphus wumizusume*の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 299-306. [鳥根]

### 【両生類・爬虫類】

藤田宏之・土井敏男・寺岡誠二(2012)鳥根県の溪流で発見された全身が膨張したタゴガエル. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 227-229. [鳥根]

### 【魚類】

林 耕介・小林朋道(2012)鳥取県東部のナガレホトケドジョウ集団におけるミトコンドリアDNA D-loop領域の多型解析. 鳥取県立博物館研究報告, No. 49, pp. 1-5. /ナガレホトケドジョウの鳥取県内2カ所(鳥取市覚寺, 円護寺)のミトコンドリアD-loop領域の塩基配列による系統解析. [鳥取]

川上 靖・一澤 圭(2012)鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物(2010年～2011年), および大型ヤリマンボウ. 鳥取県立博物館研究報告, No. 49, pp. 13-16. /鳥取県沿岸海域から記録された, 海洋哺乳類, ウミガメ, 魚類の記録. ハナゴンドウ, アカウミガメ, アオウミガメ, ヤリマンボウ, イトマキエイ, サケガシラ属sp. リュウグウノツカイ, ナガユメタチモドキ, マンボウ, カンテンダコを含む. [鳥取]

### 【昆虫:総合】

鈴木知之(2012)虫の卵ハンドブック. 文一総合出版(東京), 136 pp. 1600円 / ISBN: 978-4-8299-8106-1 昆虫の卵の写真集. この手の本としては珍しく巻末の索引に写真の撮影地と日付も掲載されており資料としての価値も発生しており素晴らしい. 次の種の撮影地が鳥根県内:ヒメコブオトシブミ(吉賀町樋口), コミスジ(津和野町左鏡). [鳥根]

林 成多(2012)鳥根県出雲市園町宍道湖グリーンパークの昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 207-226. [鳥根]

林 成多・松田隆嗣・門脇久志・深谷 治・近見芳恵(2012)隠岐諸島における昆虫類分布調査II. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 287-297. [鳥根]

林 成多・門脇久志・松田隆嗣・藤原淳一(2012)鳥取県大山に

おける昆虫類の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, pp. 49-98. / 14目200科1677種の記録. 鳥取県レッドリスト(2012) 掲載種20種を含む. [鳥取]

小川弘展・野坂 舞・橋井菜都美・横山瑞歩・鶴崎展巨(2012)鳥取砂丘における2011年の昆虫類調査の記録と“砂丘オアシス”の動物相. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 31-40. / 2011年の調査で確認された83種の記録. うち21種は鳥取砂丘から未記録であった. オアシスで確認した2種のカエルの記録も. [鳥取]

鶴崎展巨・林 成多・宮永龍一・一澤 圭・川上 靖(2012)鳥取砂丘の昆虫類目録. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 47-82. / 鳥取砂丘(狭義)の昆虫(狭義)として13目146科679種の記録をまとめた(周辺地域を含めた掲載種は14目153科750種). 52種は今回, 鳥取砂丘から新たに確認. [鳥取]

鶴崎展巨・川上 靖・一澤 圭・林 成多・宮永龍一(2012)浦富海岸鴨ヶ磯(鳥取県)の昆虫相. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 1-8. / 特別保護区鴨ヶ磯での昆虫類(広義)15目52科110種のリスト. [鳥取]

鶴崎展巨・田中佑希・森本 宝・石田裕樹・山田恭平(2012)鳥取砂丘の2010年の昆虫相調査の記録と有剣ハチ類数種の分布. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 25-30. / 鳥取砂丘から未記録の5種の記録を含む. また鳥取砂丘から最近の記録がなかったニッポンハナダカバチやコウベキヌゲハキリバチの生息を再確認. [鳥取]

### 【昆虫:トンボ目】

林 成多・山口勝秀(2012)ゲンバイトンボを旧瑞穂町内で確認. すかしば, No. 59, pp. 32-33. [鳥根]

桐原佳介(2012)鳥取県西伯郡南部町におけるモートンイトンボの記録. 山陰自然史研究, No. 8, p. 31. [鳥取]

三島秀夫(2012)隠岐の島町由井の池で見たチョウトンボ. すかしば, No. 59, p. 9. [鳥根]

長瀬 翔(2012)鳥根半島部でハネビロエゾトンボを採集. すかしば, No. 59, p. 29. 出雲市奥宇賀町和田からハネビロエゾトンボの記録. [鳥根]

長瀬 翔(2012)飛来種のおオギンヤンマを採集. すかしば, No. 59, p. 29. 出雲市湖陵町でオオギンヤンマを記録. [鳥根]

野津幸夫(2012)浜田市金城町榜示峠8月初旬の蜻蛉. No. すかしば, No. 59, pp. 32-33. [鳥根]

大浜祥治(2012)2009-2011年, 山陰地方沿岸部におけるタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, No. 59, pp. 30-31. / 鳥根県でのタイワンウチワヤンマの記録. [鳥根]

大浜祥治・小早川誠・長瀬 翔・林 成多(2012) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園のトンボ相. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 65-68. [島根]

祖田 周・大浜祥治(2012) 2009-2011年, 島根県の飛来ア Катンボの記録. すかしば, No. 59, pp. 31-32. / タイリクア キアカネとオナガアカネの島根県からの記録. [島根]

#### 【昆虫:直翅類】

福井修二(2012) ショウリョウバッタモドキの記録. すかしば, No. 59, p. 43. [島根]

川上 靖(2012) 外来種ウスグモズ(コオロギ亜目ヒバリモドキ科)の鳥取県における記録と分布拡大. 山陰自然史研究, No. 8, pp. 33-34. [鳥取]

桐原佳介(2012) 鳥取県米子市におけるコバネヒメギス(キリギリス科)の記録. 山陰自然史研究, No. 8, p. 32. [鳥取]

松田隆嗣(2012) クツムシの記録(大田市・雲南市) すかしば, No. 59, p. 36. [島根]

#### 【昆虫:半翅目】

Damgaard, J., Figueiredo Moreira, F. F., Hayashi, M., Weir, T. A., & Zettel, H. (2012) Molecular phylogeny of the pond treaders (Insecta: Hemiptera: Heteroptera: Mesoveliidae), discussion of the fossil record and a checklist of species assigned to the family. *Insect Systematics & Evolution*, 43: 175-212. / ミズカメムシ科(アメンボ下目)の代表種の分子系統. 出雲市坂浦産のウミカメムシ *Speovelia maritima* が材料に使用されている。ウミミズカメムシはミズカメムシなどが含まれる *Mesovelia* 属に認められた2系統群のうちの一つの中に位置づけられているがブーツストラップ値が高いわけではない。[島根]

端山 武(2012) 隠岐の島町のウミミズカメムシの記録. すかしば, No. 59, p. 38. [島根]

林 成多・松田隆嗣(2012) チャバネベニキジラミを島根県三瓶山で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 78. [島根]

林 成多・松田隆嗣(2012) 島根県で外来種プラタナスゲンバイを確認. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 78. [島根]

林 成多・松田隆嗣(2012) 島根県で外来種ヘクソカズラゲンバイを確認. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 64. [島根]

林 成多・門脇久志(2012) 隠岐諸島キジラミ類(半翅目キジラミ上科)の採集記録(2011年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 267-273. [島根]

林 成多・門脇久志(2012) 鳥取県大山山麓と島根県雲南市大東町で確認されたヤマウコギを寄種とするヤナギトガリキジラミ属の一種について. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, pp. 11-15. / ヤマウコギを寄主とするヤナギトガリキジラミ属の1種の報告. [鳥取・島根]

林 成多・宮武頼夫(2012) 山陰地方のキジラミ図鑑. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 6, pp. 1-97. 島根県と鳥取県からこれまでに記録されたキジラミ上科の昆虫80種の図鑑. 全種深度合成とおもわれる美しいカラー写真つき. 島根県74種, 鳥取県61種. [島根・鳥取]

野津幸夫・北岡亨一・山本 茂(2012) 三朝町のヒメハルゼミ. ゆらぎあ, No. 30, pp. 26-27. ヒメハルゼミ(三朝町助谷) [鳥取]

野津幸夫・津森正二(2012) アブラゼミの遅い発生の記録. すかしば, No. 59, p. 35. [島根]

#### 【昆虫:脈翅目】

林 成多(2012) 島根県の海浜におけるアリジゴク4種の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 201-206. [島根]

#### 【昆虫:鞘翅目】

藤原淳一(2012) 鳥取県大山山麓南西域におけるセアカヒメドロムシ *Optioservus maculatus* Nomura (コウチュウ目ヒメドロムシ科)の生活史に関する研究. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, pp. 1-10. / 伯耆町岩立の農業用水路におけるセアカヒメドロムシの生活史調査. 成虫と4-7齢幼虫は年中見つかる。[鳥取]

福井修二(2012) ナガフトヒゲナガゾウムシの採集記録. すかしば, No. 59, p. 40. [島根]

福井修二(2012) 地中の根に寄生していたガンショキクイムシ. すかしば, No. 59, pp. 40-41. [島根]

福井修二(2012) アメリカヒラタキクイムシの島根県での発生記録. すかしば, No. 59, p. 42. [島根]

福井修二(2012) ハンノキカミキリの記録. すかしば, No. 59, pp. 42-43. [島根]

端山 武(2012) 浜山公園のオオヒョウタンゴミムシの記録. すかしば, No. 59, 39. [島根]

林 成多(2007) 新種の水生昆虫発見! —島根のダルマガムシたち—. pp. 40-42. In: 中野浩史・山口勝秀・越川敏樹(編) 宍道湖自然館第13回特別展「水に生きる昆虫〜ふるさとの水辺から〜」展示解説書. 水に生きる昆虫. 宍道湖自然館ゴビウス・ホシザキグリーン財団. 74 pp. / 枕木山の新種候補のダルマガムシの記載あり。[島根]

林 成多(2009) キイロネクイハムシ類に関する最近の知見.

- 昆虫と自然, 44(11): 24-25. [鳥取・島根]
- 林 成多 (2012) 山陰のチビドロムシとナガドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 11-18. / 島根県からこれまでに記録された水生甲虫の写真つきモノグラフ. 145種を収録。[島根]
- 林 成多 (2012) 山陰のダルマガムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 53-63. / 島根県からこれまでに記録された水生甲虫の写真つきモノグラフ. 145種を収録。[島根]
- 林 成多 (2012) 島根県の陸生ガムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 69-77. / 島根県からこれまでに記録された水生甲虫の写真つきモノグラフ. 145種を収録。[島根]
- 林 成多 (2012) 旧北区東部および東洋区のネクイハムシ亜科概説. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 135-177. / 島根県からこれまでに記録された水生甲虫の写真つきモノグラフ. 145種を収録。[島根]
- 林 成多 (2012) 島根県松江市大橋川産のツマグロマルハナノミについて. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 248. [島根]
- 林 成多 (2012) 島根県松江市でバッキンガムカギアシゾウムシを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 274. / ガガバタを寄主とする水生甲虫であるバッキンガムカギアシゾウムシを松江市のため池で採集, 記録。[島根]
- 林 成多 (2012) 月刊むし・昆虫図説シリーズ2. 日本のネクイハムシ. むし社 (東京), ISBN: 978-4-943955-42-9, 95 pp. 6,400円 / 日本産ネクイハムシ亜科23種のモノグラフ. 写真が非常に美しい. 図解つきの検索表が充実. p. 83の都道府県別分布表をみると, 鳥取県と島根県からはともに6種ずつ記録されていることがわかる。[鳥取・島根]
- Hayashi, M., & Kawakami, Y. (2009) Fossil of the genus *Eubrianax* (Coleoptera, Psephenidae) from the upper Miocene Ningyô tōge Formation in Tottori Prefecture, Japan. *Elytra*, Tokyo, 37(1): 99-103. [鳥取]
- Hayashi, M., Song, S. D. & Sota, T. (2012) Molecular phylogeny and divergence time of the water penny genus *Eubianax* (Coleoptera: Psephenidae) in Japan. *Entomological Science*, 15 (3): 314-323. / *Eubianax*属のミトコンドリアCOI遺伝子と核遺伝子28rRNAに基づく分子系統. *E. granicollis*のサンプルに斐伊川産, 隠岐島後産が含まれる。*E. ramicornis ramicornis*に大山一ノ谷産, 木次町尺ノ内公園, 外群の*Prdobrevia gotoi*に佐田町産, *Pseudamophilus japonicus*に斐伊川, *Zaitzeviaria gotoi*出雲市鱒淵寺, が含まれる。[島根・鳥取]
- 川野敬介・皆木宏明 (2012) 島根県におけるホタル類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 235-247. [島根]
- Jäch, M. A. & Díaz, J. A. (2012) Descriptions of six new species of *Hydraena s.str.* Kugelann from Japan (Coleoptera: Hydraenidae). *Koleopterologische Rundschau* (Wien), 82; 115-136. / ダルマガムシ *Hydraena s.str.* 6新種の記載. *Hydraena hayashii* n. sp. は (タイプ産地: 枕木山. 現在のところ島根県のみ), *Hydraena kadowakii* n. sp. のタイプ産地は大山町甲川鶯橋: 大山から蒜山にかけての地域に固有)。これまで四国のみから知られていた (タイプ産地は愛媛県皿ヶ嶺) *Hydraena notsui* Satô 1978を鳥取県と島根県から新記録. 枕木山の種は, 林 2007: 新種の水生昆虫発見! —島根のダルマガムシたち—, pp. 40-42. In: 中野浩史・山口勝秀・越川敏樹 (編) 宍道湖自然館第13回特別展「水に生きる昆虫〜ふるさとの水辺から〜」展示解説書. 水に生きる昆虫. 宍道湖自然館ゴビウス・ホシザキグリーン財団. 74 pp. に写真が出ている。[鳥取・島根]
- 越山洋三・松田隆嗣 (2012) 松江市でアカマダラハナムグリを採集. すかしば, No. 59, p. 36.
- Kubota, K., Nagahata, Y., Ikeda, H., Kubota, N., Otake, H., & Umetsu, K. (2011) Diversification process of stag beetles belonging to the genus *Platycerus* Geoffroy (Coleoptera: Lucanidae) in Japan based on nuclear and mitochondrial genes. *Entomological Science*, 14(4): 411-427.
- 國本洗紀 (2012) コガタノゲンゴロウの生態 (その6) —時間別捕獲数からみた日周活動性—。ゆらぎあ, No. 30, pp. 13-16. [鳥取]
- 國本洗紀 (2012) コガタノゲンゴロウの飛び立ちについて. ゆらぎあ, No. 30, pp. 16-17. [鳥取]
- 松田隆嗣 (2012) コブナシコブスジコガネを三瓶山で採集. すかしば, No. 59, pp. 36-37. [鳥取]
- 松田隆嗣 (2012) 島根県東部でのヤマトタマシの記録. すかしば, No. 59, pp. 36-37. [島根]
- 野津幸夫 (2012) ツヤネクイハムシ島根県雲月山に産す. すかしば, No. 59, p. 38. [島根]
- 野津幸夫 (2012) 鳥取県で採集した記録の少ない甲虫 3種. —クロガネネクイハムシ, トゲニセマグソコガネ, マダラクワガタ—. ゆらぎあ, No. 30, pp. 17-20. / クロガネネクイハムシ (日南町), トゲニセマグソコガネ (伯耆町), マダラクワガタ (大山町, 隠岐島後大満寺山の記録も含まれる)。[島根]
- 尾原和夫 (2012) 隠岐・西ノ島産ヒラタクワガタについて. すかしば, No. 59, p. 37. [島根]
- 笹野翔伍 (2012) 鳥取県大山でルリヒラタムシを記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, p. 99. / 中国地方で記録の少ないルリヒラタムシの大山下山キャンプ場からの記録。[鳥取]

- 笹野翔伍 (2012) 鳥取県大山町でベーツヒラタカミキリを記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No.7, p. 100. / 記録の少ない暖地性種ベーツヒラタカミキリの記録 (大山富成). [鳥取]
- 初宿成彦 (編) (2012) 「大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2) ゴミムシ類・カミキリムシ科ヒメハナカミキリ属・ハムシ科」. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第44集. 372 pp. / 鳥取県大山・旧青谷町, 島根県隠岐諸島などの標本データが多く含まれている. [鳥根・鳥取]
- 竹田正義 (2012) オオミズスマシの飼育下繁殖について. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 275-285. [鳥根]
- 【昆虫: 双翅目】**
- 福井修二 (2012) ケンランアリノスアブの採集記録. すかしば, No. 59, pp. 39-40. [鳥根]
- 前田泰生 (2012) 島根県産メバエ類の採集記録補遺. すかしば, No. 59, pp. 1-2. / 島根県産メバエ科9種の採集記録. [鳥根]
- 鶴崎展巨 (2012) 鶴崎ら (2010) の論文「移入種オナジショウジョウバエの鳥取県からの確認. 付録: 鳥取県産ショウジョウバエ」への訂正. 山陰自然史研究, No. 8, p. 54. [鳥取]
- Yamauchi, T., Tsurumi, M. & Kataoka, N. (2009) Distributional records of *Lipoptena* species (Diptera: Hippoboscidae) in Japan and Jeju-do, Korea. *Medical Entomology and Zoology*, 60(2): 131-133. / 日本と済州島におけるシカシラミバエ属の分布記録. 和文要約: 同号, 139 [鳥根]
- 【昆虫: 鱗翅目】**
- 有田 斉 (2012) 私の標本棚. B4横判, 254 pp.. 私家版 (限定30部). / 有田氏は鳥取市出身. 31年間のコレクションをそのまま製版し, すべての標本データを付記した豪華本. キマダラルリツバメ, ゴマシジミ, ギフチョウ, オオウラギンヒョウモン, キリシマミドリシジミ, ウラゴマダラシジミなどに鳥取県や島根県産が含まれる. [鳥取・鳥根] (KY)
- 筆谷憲一 (2012) 島根県・鳥取県・岡山県北部・広島県北部の蝶類観察記録2010年~2011年. すかしば, No. 59, pp. 24-25. / 島根県奥出雲町呑谷, 2010.6.22 ヒサマツミドリシジミの生態写真が注目される. [鳥取・鳥根] (KY)
- 門脇正雄 (2012) ヒサマツミドリシジミを大山で採集. すかしば, No. 59, p. 11. [鳥取]
- 清末忠人 (2012) シンジュキノカワガの記録. ゆらぎあ, No. 30, pp. 24-25. / シンジュキノカワガ (気高町勝見) [鳥取]
- 國本洗紀 (2012) メスグロヒョウモン (2012) 年も記録. ゆらぎあ, No. 30, p. 26. / メスグロヒョウモン (倉吉市高城) [鳥取]
- 國本洗紀 (2012) 鳥取県中部地区のウスバアゲハの記録. ゆらぎあ, No. 30, p. 25. / ウスバアゲハ (倉吉市桜) [鳥取]
- 國本洗紀 (2012) 鳥取県中部地区のオオシモフリスズメの記録. ゆらぎあ, No. 30, p. 25. / オオシモフリスズメ (倉吉市打吹公園) [鳥取]
- 増井武彦・林 成多・祖田 周・門脇久志 (2012) 鳥取県大山における蛾類の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, pp. 17-48. / 2005年の調査に基づく大山のガ類のリスト. 23科578種. [鳥取]
- 松田隆嗣 (2012) ナマリキシタバの幼虫を立久恵峡で採集. すかしば, No. 59, p. 6. / ナマリキシタバ (ヤガ科) の幼虫の記録. [鳥根]
- 松田隆嗣 (2012) ムラサキシタバを島根半島で採集. すかしば, No. 59, p. 8. [鳥根]
- 松田隆嗣 (2012) トビモンオオエダシャク of メスの記録. すかしば, No. 59, p. 12. 出雲市でのトビモンオオエダシャクの記録. [鳥根]
- 松田隆嗣 (2012) ハマゴウノメイガを島根県で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 298. [鳥根]
- 松田隆嗣 (2012) 鳥取県大山におけるネズミホソバの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 7, p. 16. [鳥取]
- 松田隆嗣・桐原佳介 (2012) 山陰地方におけるナカグロクチバの記録. すかしば, No. 59, pp. 8-9. / 米子市米子水鳥公園と島根県斐川町直江で南方系種のナカグロクチバを採集. [鳥取・鳥根]
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2012) 松江市各地でウスズミカレハを確認. すかしば, No. 59, p. 10. / カレハガ科のウスズミカレハの記録 (松江市). [鳥根]
- 松井悠樹 (2012) 鳥取県東部で採集した蛾類 1. ゆらぎあ, No. 30, pp. 1-12. / 鳥取県東部のガ252種の記録. コシロシタバ, オナガミズアオ, カギモンハナオイアツバなどが採集されたときまえがきにあるが, これらのデータは本稿では割愛されている. [鳥取]
- 三島昭一 (2012) ヒメシジミを匹見町で採集する. すかしば, No. 59, p. 18. [鳥根]
- 三島昭一 (2012) 船通山でウラキンシジミ幼虫パラシュート発見. すかしば, No. 59, p. 17. [鳥取]
- 三島昭一 (2012) 島根半島で長野県産標識アサギマダラが捕獲される. —2011年鰯淵小学校アサギマダラ調査報告. すかしば, No. 59, pp. 19-23. [鳥根]
- 三島昭一 (2012) オオチャバネセセリの異常型. ゆずりは, No.52, p. 66. / 2011.6.21, 鳥取県南部町, 1♀. [鳥取]
- 野津幸夫 (2012) アメリカシロヒトリ松江市天神川沿いで発生. すかしば, No. 59, p. 3. [鳥根]

- 野津幸夫(2012) ナマリキシタバ島根県にて採集. すかしば, No. 59, pp. 4-5. / 島根県新記録のナマリキシタバ(ヤガ科)を記録.[島根]
- 野津幸夫(2012) シロシモフリエダシヤクを安来市布部ダムで採集. すかしば, No. 59, p. 7. / 安来市広瀬町布部ダムでの城シモフリエダシヤクの採集記録.[島根]
- 野津幸夫(2012) 南方系オオノコバヨトウ(ヤクシマヨトウ)を伯耆大山で採集. すかしば, No. 59, p. 7. / 南方系種オオノコバヨトウ(ヤガ科)の大山三ノ沢2010年8月18日からの記録.[鳥取]
- 野津幸夫(2012) 北方系ヨシヨトウを伯耆大山で採集. すかしば, No. 59, p. 7. / 北方系種ヨシヨトウ(ヤガ科)を大山三ノ沢2008年10月4日に記録.[鳥取]
- 野津幸夫(2012) ヒメコスカシバとタカムクシャチホコの記録. ゆらぎあ, No. 30, pp. 23-24. / ヒメコスカシバ(大山二ノ沢), タカムクシャチホコ(大山三ノ沢)[鳥取]
- 坂田国嗣(2012) 安来市でメスグロヒョウモン再確認. すかしば, No. 59, p. 3. [島根]
- 坂田国嗣(2012) ベニシジミを2月に初確認. すかしば, No. 59, p. 5. [島根]
- 坂田国嗣(2012) ウスバアゲハの真っ黒な♀確認. すかしば, No. 59, p. 11. / 安来市伯太町鷹入りの滝でのウスバシロチョウの記録.[島根]
- 坂田国嗣(2012) 2011年度・蝶類観察記録. すかしば, No. 59, pp. 13-15. / 安来市伯太町鷹入りの滝でのウスバシロチョウの記録.[島根]
- 佐々木英之(2012) オナガシジミの体色異常の幼虫を採集. ゆらぎあ, No. 30, p. 21. / オナガシジミ(江府町三平山).[鳥取]
- 佐藤力夫・増井武彦(2012) 日本産Synegia属(シヤクガ科エダシヤク亜科)の1新種. 蛾類通信, No. 265, pp. 365-388. ダイセンハグルマエダシヤク*Synegia daisenensis* n. sp.の記載. 和名は「ダイセン.」だが, タイプ産地は岡山県上蒜山蛇ヶ峠。パラタイプに大山三ノ沢, 横手橋, 元谷, 三朝町小鹿溪が使われている.[鳥取]
- 田村昭夫(2012) 鳥取県のガ類に関する文献目録. 日本鱗翅学会中国支部会報, No. 13, p. 3. [鳥取]
- 田村昭夫(2012) 北上2種(クロメンガタズメ・イチジクヒトリモドキ)はどうした? ゆらぎあ, No. 30, p. 28. [鳥取]
- 田中宏卓(2012) 2012年の鳥取県鳥取市からのホシミスジの記録. 山陰自然史研究, No. 8, p. 36. [鳥取]
- 田中宏卓(2012) 浦富海岸東浜(鳥取県)からのツマグロキチョウの確認記録. 山陰自然史研究, No. 8, pp. 34-35. [鳥取][鳥取]
- 北村憲二・丸山友里(2012) チョウ目昆虫用選択性殺虫剤. フルベンジアミド水和剤の非標的生物に対する影響評価. 中国昆虫, No. 26, pp. 61-71. / 松江市西持田町山麓の畑

- 作地帯で, 鱗翅目昆虫に選択的効果があるとされる農薬フルベンジアミド水和剤の鱗翅目昆虫以外の節足動物に対する影響を調べた. クモ14種, 甲虫類, カメムシ類, バッタ類, オカダンゴムシなどがリストにみられる.[島根]
- 能美 豪(2012) 2011年の採集記録(ヒサマツミドリシジミなど). すかしば, No. 59, p. 28. / 倉吉市関金町山口のギフチョウ, 日吉津村日野川土手のベニシジミ, 大山横手道のヒサマツミドリシジミの記録. [鳥取]
- 山内健生・佐々木明夫(2012) 中国地方と九州におけるコブガ亜科の記録. 誘蛾灯, No. 209, pp. 104-105. [鳥取・島根]
- 澁江賢一郎・三宅誠治・神垣健司(2012) 中国地方5県のチョウ類レッドデータ・リスト一覽. 日本鱗翅学会中国支部会報, No. 13, pp. 18-24. [鳥取・島根]

### 【昆虫:トビケラ目】

- 河瀬直幹・林 成多(2012) 2009-2011年に島根県で採集したトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 253-258. [島根]

### 【昆虫:膜翅目】

- 林 成多(2012) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園のハバチ類および島根県内で採集したハバチ類の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 1-9. [島根]
- 前田泰生・灘野宏行・北村憲二(2012) ハウスイチゴにおけるマメコバチの送粉昆虫としての利用. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 19-45. [島根]
- 宮永龍一(2012) 鳥取県浦富海岸とその周辺の有剣類(膜翅目)の記録. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 15-20. / 鳥取砂丘と浦富海岸の数カ所(熊井浜, 浦富海水浴場, 城原海岸, 鴨ヶ磯)で確認された40種のリスト.[鳥取]
- 宮永龍一・諸岡由起・川崎やよい・前田泰生(2012) シロスジカタコハナバチの営巣生態と複メス巢の出現について. 昆虫(ニューシリーズ), 15 (4): 243-251. / 松江市枕木町と島根町の林道で花上採集して島根大学構内の網室に放飼したシロスジカタコハナバチの営巣生態. 枕木山の標高500m付近の林道での定期採集による季節消長も含む. [島根]
- 松井悠樹(2012) キオビホオナガスズメバチのオスを氷ノ山で採集. ゆらぎあ, No. 30, p. 22. [鳥取]
- 田村昭夫(2012) ヒラアシキバチを採集. ゆらぎあ, No. 30, pp. 22-23. / ヒラアシキバチ(小鹿溪, 倉吉市)[鳥取]

### 【クモガタ類】

- 一澤 圭・林 成多・鶴崎展巨(2012) 浦富海岸鴨ヶ磯(鳥取

- 県)のクモガタ類・多足類・陸生等脚類. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 9-14. /環境省特別保護区の浦富海岸の鴨ヶ磯の節足動物(クモガタ類, 多足類, 甲殻類等脚目)の記録. クモ目ではイソタナグモとクロマルイソウロウグモの2種は鳥取県新記録.[鳥取]
- 一澤 圭(2012)鳥取砂丘のトビムシ類とササラダニ類. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 41-45. /トビムシ類で11科31種, ササラダニ類で19科32種を確認.[鳥取]
- Tabara, K., Kawabata, H., Arai, S., Itagaki, A., Yamauchi, T., Katayama, T., Fujita, H. & Takada, N. (2011) High incidence of rickettsiosis correlated to prevalence of *Rickettsia japonica* among *Haemaphysalis longicornis* tick. *Journal of Veterinary Medical Science*, 73(4): 507-510. [鳥根]
- 谷川明男・新海 明(2012)今ここにいるイソコモリを大切にしよう. *Kishidaia* (東京蜘蛛談話会誌), No. 101, pp. 1-4. /イソコモリグモのミトコンドリアCOI遺伝子の塩基配列から調べた日本列島各地のイソコモリグモの遺伝的構造の研究の概略紹介(論文は別に出る予定). 集団間の違いが大きく, 海岸間の移動が非常に制限されていることが判明. 鳥取砂丘から島根県西部までの集団は他と異なる一群を形成する. また, 鳥取県や島根県の集団は遺伝的多様度が高く, 祖先的な性質を残しているらしい. (NT) [鳥取・島根]
- Yamauchi, T., Tabara, K., Kanamori, H., Kawabata, H., Arai, S., Katayama, T., Fujita, H., Yano, Y., Takada, N. & Itagaki, A (2009) Tick fauna associated with sika deer density in the Shimane Peninsula, Honshu, Japan. *Medical Entomology and Zoology*, 60(4): 297-304. 島根半島におけるニホンジカの分布密度に関連したマダニ相. 和文要約: 同号, 323-324. [鳥根]
- 【甲殻類】**
- 林 成多(2012)島根県東部で採集した陸棲等脚目の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 195-200. [鳥根]
- 板木孝典(2012)島根県沿岸で得られたエビ類2種. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 231-233. [鳥根]
- 岩崎敬二・久保田 信・原 康弘(2012)久保田信所蔵標本の外来改良動物:1980年代の分布を主として. *日本生物地理学会会報*, 67; 133-142. /1980年代に採集されたイガイ類標本の検査から付着外来フジツボ, ムラサキイガイの記録などを整理. 隠岐西郷町にムラサキイガイとタテジマフジツボ(両者とも外来種)の記録がみえる.[鳥根]
- 桑原友春(2012)イソカニダマシを島根半島で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 52. [鳥根]
- 桑原友春(2012)カクベンケイガニを中海で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 188. [鳥根]
- 桑原友春, (2012)サワガニの鉗脚にあらわれた奇形について. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 262. [鳥根]
- 桑原友春(2012)島根県の境水道で採集されたウミエラカニダマシ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, p. 266. [鳥根]
- 桑原友春・辻井要介・本尾 洋(2012)中海で得られたヒメアカイソガニの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 259-261. [鳥根]
- Nagasawa, K., Mukai, T., Sota, K. & Yamauchi, T. (2010) Heavy infection of groupers *Epinephelus* spp. with *Lernaenicus ramosus* (Copepoda, Pennellidae) in the Sea of Japan. *Biogeography*, 12: 13-15. /日本海産ハタ類におけるカイアシ類*Lernaenicus ramosus*の重度寄生例. 和文要約: (2010.12.20)日本生物地理学会会報, 65: 224. [鳥根]
- 山内健生・中野浩史・長澤和也(2011)水族館におけるチョウによるナマズへの寄生例. *陸水学雑誌*, 72(3): 211-214. [鳥根]
- Yamauchi, T. & Nagasawa, K. (2012) Redescription of the fish parasite *Nerocila japonica* Schioedte & Meinert, 1881 (Crustacea: Isopoda: Cymothoidae), with comments on previous records of *N. acuminata* in Japanese waters. *Systematic Parasitology*, 81(2): 147-157. [鳥根]
- 【その他の無脊椎動物】**
- 幸塚久典(2012)隠岐の島の浅海で得られたフトアシウミシダ(棘皮動物門:ウミユリ綱). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 15, pp. 249-251. [鳥根]
- 幸塚久典・小郷一三(2012)隠岐諸島の浅海域から得られた日本海初記録のウミシダ類(棘皮動物;ウミユリ綱). *日本生物地理学会会報*, 67: 231-135. /隠岐諸島および日本海では初記録となるウミシダ類(棘皮動物) 3種を報告:ギスレンウミシダ, マキエダコアシウミシダ, ヒメウミシダ. [鳥根]
- 鳥取県・島根県内のタイプ産地(2012年記載分)
1. *Hydraena hayashii* Jäch & Díaz 2012 (タイプ産地:島根県松江市枕木山) (鞘翅目 ダルマガムシ科)
  2. *Hydraena kadowakii* Jäch & Díaz 2012 (タイプ産地:鳥取県大山町甲川鶯橋) (鞘翅目 ダルマガムシ科)